

## 平成31年度 スポーツ振興くじ助成金 配分基準

「平成31年度スポーツ振興くじ助成金募集の手引」に定める助成対象の要件に該当する事業については、以下の配分基準に基づき採択するものとする。

### 1 基本方針

地方公共団体は、「事業内容」「PR協力」の項目ごとに3段階評価、スポーツ団体は、「事業内容」「PR協力」「会計処理」の項目ごとに3段階評価を行う。

各項目の合計で「得点が7割を超えた団体はA評価（助成対象額の100%）」「4割を超え7割以下の得点があった団体はB評価（助成対象額の80%）」「得点が4割以下の団体はC評価（不採択）」とする。

なお、「事業内容」がC評価の事業については、合計点にかかわらずC評価（不採択）とする。

### 2 事業別の基準

以下に掲げる事業については、事業の特殊性又は助成金の効率的な執行を促すなどの観点から、事業ごとの基準によるものとする。

- (1) スポーツ活動推進事業（マイクロバス設置事業以外）  
申請1年目の団体は、A・Bいずれの評価であっても、前年度の活動状況が不十分な場合は助成対象額の70%とする。
- (2) スポーツ活動推進事業（マイクロバス設置事業）  
現物給付であることから、助成対象額どおりとする。
- (3) ドーピング検査推進事業  
当該事業の重要性に鑑み、助成対象額どおりとする。
- (4) スポーツ仲裁等事業  
当該事業の重要性に鑑み、助成対象額どおりとする。
- (5) スポーツ指導者海外研修事業  
当該事業の重要性に鑑み、助成対象額どおりとする。
- (6) 国際競技大会開催助成  
総合競技大会、文部科学大臣が特に必要と認めた大会及びオリンピック・パラリンピック競技種目の国際競技大会については、当該事業の重要性に鑑み、助成対象額どおりとする。
- (7) 大規模スポーツ施設整備助成  
当該事業の重要性に鑑み、助成対象額どおりとする。
- (8) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会等開催助成  
当該事業の重要性に鑑み、助成対象額どおりとする。
- (9) 国民体育大会冬季大会の競技会開催支援事業  
当該事業の重要性に鑑み、助成対象額どおりとする。
- (10) スポーツによる被災地の子どもたちの心のケア活動等事業  
当該事業の重要性に鑑み、助成対象額どおりとする。